みいけ
發行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番
編集發行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場
三鉱労組
機関紙

炭勞大會特集

経營方針変革闘争決定する
腰をすえて闘うぞ
敵の反撃をうちくだけ

第九回三鉱運臨時大会は十月十四日より十九日まで、東京国鉄労働会館大会議室で開催された。三池からは北岡次長はじめ七名が出席、代議員定数二十九名全員出席、執行部も畠山委員長はじめ全員が出席した。今次の臨時大会は昇給、珪肺要求、企闘カンパ配分、経営方針変革闘争など重要な議案が六日間に亘つて審議されたが、中でも昇給の問題　経営方針変革闘争では三池と他の五山との意見の食違いがあつて、白熱的な論議が闘わされたことも注目に価する。

総評を中心に動く
＝経過報告＝

中央情勢の報告で灰原事務局長から前回の中央委員会以降の問題についての経過報告があり一般情勢として日本に於る情勢は前回総評大会で決定された闘争方針に従い各単産とも運動を進めている。然しこの中にも日鋼室蘭における第二組合の結成、全自動車組合に於る増田委員長の除名問題等があるということを我々としてもいつ資本家の反撃がこないとも判らないこの情勢の中で相当注意してかゝつて行かなければならないだろう会社より経営内容の説明の申入れがあつたが、組合としては必要なことがあればその都度申入れるからその時やつてもらいたいと回答

地方経過報告

西鉱運から五月二十二日大会を開催した、今后西鉱運としては労働条件をもつとめて同一歩調の下に統一した闘いを進めることにしている。三山炭婦協の懇談会を開いたが非常に有意義であつたので今后続行したい。北三運からの報告昨年企業整備闘争の中で会社幹部のつるし上げ事件の裁判が七月廿六日より二十九日まで行われた、検事はこの事件を悪質なものとして過酷な体刑を課そうとしている。最終裁判は十一月四日に行われる

協力義務は負わぬ
＝経營方針変革闘争＝

経営方針変革闘争の議事に入る前に灰原局長より大衆討議を充分することが出来るよう前大会で要望があつたが　資料発送が十月二日になり大衆討議に困難をきたしたことをおわびしたい。次にオルグが行つて説明することを考えられたが昇給その他で出来なかつたこと、第三に大衆討議の資料として文章がカタク、悪文であつたことに対しては自己批判をなす。また藤田氏の論文を入れてあるが、これは原案とは直接的な関連はないものであつて、部分的にくいちがいがあると釈明があつたが、九北とも各代議員より資料の送附の遅れで大衆討議は全く不充分であつて態度決定に困難な状態が生じると、その責任を追及したが、具体的な論議の中で山元の意思を生かしていくことになつた。

廣汎な闘いが必要

質疑応答の主なるものは

○現在の資本主義の下における経営民主化の限度について

×主観的な意味で限度というものはない、闘つて拡げていくものと考える。しかし「カベ」はある、それをつき破つて進むことが民主化闘争になつていくのである。経営の民主化も経営のワクの中だけではやりつくせないので　階級的な広汎な闘いが必要となる。

○原案による「決定」と「組合の責任の限度」について。

×団交による「決定」と同様に考える。つまり決定したことは有利な限り協定としてとるが協力的な義務は負わないようにする。

○決定に対する組合の責任の問題であるが、例えは出炭量を決めたとき、それだけ出ないときは矢張り責任がある　こういう点も少し説明せよ。

×われ／＼が経営にタッチするのは労働条件との関連においてであつて、出炭量の決定についてもそれだけ出すという約束をするのではない。決定を監視するということである、と考える会社側がすべて中央集権的になりつゝあることに対して、組合でも中央で経営にタッチすることが必要であろうという考えである。

二刀流論議とは

○企業内で社会化がやれるという考え方のようにとられては誤謬を生むと思うが。

×企業内だけでやれぬことは勿論である。われわれがいつているのは階級闘争につながる企業内の闘いであつて、二刀流論議の考え方である。

○二刀流論議がのみこめない

×実力オンリーだけでなく、もう少し経営の内容、方針を知ること。敵の政策を知つて根づよい闘いを組織してゆくためには、企業内闘争と企業外闘争の二本建となる、企業内闘争には限界があると企闘白書でも述べてあるが、企業外闘争が形式的にやれるだけでは真実の力とならない。

○原案を十分こなしていけば炭労の労働プランとしてもいゝと思うが、これを炭労にもちこめるか。

×企業内と企業外との相違があるのでもち込めない点はある、又炭労の労働プランとの相違点、ジヤマになるかどうかは阿部委員長に聞いて貰いたい。

炭労阿部委員長（傍聴中）

各組織のケースが違つていると思うが労働プランについて問題になるのはこれをどう消化するかということであり、一人一人がやれるものでなければならない、それは現実の問題と将来の問題をとり入れたプランになるだろうし、炭労のプランが三鉱運のものより弱いものになるかも知れないが、それは炭労の内部状態を考えて頂けば、必ずしも三鉱運と一致するとは思えないが、少くとも組合員の一人一人が消化できるものをつくることが大切である。三鉱運の考え方は率直にいつて炭労より飛躍したものであると思うし、こゝでできるものがジヤマになるという考えはもつていない。炭労の労働プランについて詳細は古賀次長から説明して貰う。

炭労古賀次長（傍聴中　三池出身）

最初に労働プランについての全貌を今こゝで発表する状態までいつていないことを申上げておく。考え方をのべる、労働プランをつくるに当つては思想統一をもとめる必要があるまた総評のプランともマツチしたものでなければならない。各単組、地域に滲透しなければならんという考え方で進めており、三鉱運の方針は炭労の労働プラン推進のテコとして考えておるのでジヤマになるなどということは毛頭ないし、こういうものが各企業に消化されることが必要だと考える

闘争無視でない

質疑応答終了後各山よりそれぞれ意見が出され、執行部としての考え方はせんじつめると、事業計画身分書の問題、適正人事に対する闘いの場を持つということであり、これによつてこれまで闘われている日常闘争に支障を来すとか無視することではないと説明し、結局小委員会で結論を出すことになつた。

要求書は各山の意見を聞いて賃闘の盛上りと併行し十一月十日頃に出し賃金の前段闘争とかみ合せの中で闘いを進める。内容については一部原案を修正した。例えは、下部機関の支部経協は山元でその設置は協議する。中央協議出席の場合専従役員以外は費用は会社負担、経協決定事項の遵守義務については有利なものは協定するが、いわゆる協力義務は負わない。闘争組織中の中闘委のところに拡大中央闘争委員会を設置する。山元で解決した事項を中央経協で圧縮することはない、大衆闘争、職場闘争を基盤として闘い進めるという小委員会の修正、附加の結論に対し質疑の結果これを諒解した。

昇給は六円二十銭
三池のみ最後まで反對

＝昇給の問題＝

昇給に関する覚書並びに提案の理由説明がなされたが、その説明に対して次のような論議がなされた

内容＝能率給者の昇給額は割増賃金、平均賃金の対象になる。切賃とは無関係で日額その他として別に支給される。新賃金が決つた場合でも昇給額の六円二十銭がベースになることはない。今度の場合は賃金闘争と無関係である。新賃金とは別個に生きる。職員との問題であるが今次の六円二十銭は昨年に比べて三三パーセント上昇したことになり、職員は昨年と同じであるので職鉱の格差がちゞまつたことになる。一時金の五百円は中途採用者にも支給される。保償給の八〇%を支払つている様な場合もあるがそれには六円二十銭の八〇%がつくのか、その場合は全額つく、昇給の制度化については覚書ではいろんな事情でいれられなかつたが、制度化されていると理解している。これは来年の労協改正の時、執行部としてはいれるつもりでいる。大会前日にきめたことは組合があわてゝきめたことでなく、これはむしろ会社側があわてた方で、前回の中央委員会の決定で次期大会までということであつたことゝ、三社運との関連もあつて大会前日に決定せざるを得なかつた。四月一日遡及の問題は相当組合としては強力に主張したが会社は十月一日でも実施困難と主張し　結果としては十月一日に落ちつかざるを得なかつた、昇給額を能率給に対応してということであるが、事実上とれなかつた。会社は昇給は技術向上の査定において昇給させるのであるが請負給者は労働の量において賃金を支払つているのだからそれはすでに賃金の中に含まれていると主張し、これに対し種々交渉したが切賃の中に含ませることが出来なかつた。この六円二十銭と一時金五百円で妥結しなければならなかつた。執行部の情勢判断は

現在までの昇給がどうであつたか、又全産業の昇給制度がどうであつたかを総合的に判断し、今回の昇給は不満の点もあると思うが性格的に大きな変化をみたことを知つてもらいたい。したがつてこれをステップとして今后飛躍していきたいと思つている。

この昇給の問題は三池としては、この内容には反対であるという機関決定をしているので、大会決定は午后に廻してもらいたいと提案し、了解された。

午后三池出席代議員は別室協議をもつて大会対策を練つて結論を北岡次長より、三池としてはこの昇給の額が少ない等という問題よりもまた執行部が大会代議員が着く前日に仮調印したという闘いの進め方に大いに不満があるとして執行部に迫つたが、大勢としては、他の五山が諒解し、執行部が仮調印している現実からついに出席代議員の責任で諒解せざるを得なかつた。

前進

選擧闘争の意義

インフレで物価がどん／＼上る時は賃上げも比較的易しい。極端にいえば放つといても上がる。然しデフレ下では事情が全く逆になる。放つとけば遠慮なく賃金は切下げられ、首までが飛んでしまう。現に中小鉱でハツキリその事が見られる。大手といえども例外ではあり得ない。石炭が売れない、利益が上らない―要するに〃作られた経済不況〃から来る経営不振のシワ寄せを、会社は主として労働者の側に押しつけ、そこで我々の生活は段々苦しくなる。どんなに切り詰めても借金が殖える一方だ。こんな状態の中で生活を守り、兎に角何とか食つて行く為には矢張りどうしても賃上げを要求するよりない。中小では先ずもつて休廃山を食い止めて首切りを止めさせ、賃下げや遅欠配をなくし、切下げられた労働条件を元にかえすなど所謂復元闘争が必要である。だが、会社相手に要求を出し、闘うだけでは十分とはいえない。政府の人為的デフレ政策が一切の禍根をなしている以上、これを叩き直す政策変更の為の闘いに打つからざるを得ない。そうなると一企業一単産の闘争では到底追いつかない。及ぶ限りの巾広さで全産業、全組織の統一闘争を組むことが要求される訳だが、それだけでもまだ充分ではない。社会的、階級的な勢力の結集による総抵抗の一つの頂点として議会における院内闘争が、車の両輪のような関係において強く望まれる。即ち経済闘争の総仕上げの意味で、来るべき選挙闘争が大きく浮び出して来る所以であり、前段闘争の中に選挙闘争を含めた意義がこゝにある。

× × ×

以上デフレ下では食えない労働者が切実な要求を掲げ、固い決意と態勢をもつて政策変更の闘いに起ち上ろうとする動きに対応する客観情勢はどうかといえば、吉田外遊や政府要人の渡米が端的に示して居るように、露骨な対米依存と、その必然的な結果としての再軍備ならびに戦争経済の強行、更にこれが決め手としての憲法改正（既に草稿が出来上つた）等々、戦争屋の買弁的性格を益々明らかにし、しかも支配権力を飽くまでも維持するため保守合同劇に憂身をやつして居る。例えそれがわらうに堪えた猿芝居であるにしても、彼等保守反動勢力が自らの保身と、同時に労働者の進出を食い止めようとして必死の努力を傾注して居るという事だけはハツキリうかゞえ、この事は地元でも最近結成された愛市連盟を見る場合全く同じ事がいえる。」

× × ×

かくて労働者の総抵抗としての地方選挙を勝利的にかちとり得るかどうかは賃金闘争にも大きく響く問題であり三鉱労組としてもこれに備えて慎重な資料の蒐集の上に立つて対策の樹立に万全を期して居り、何れ近く候補者名、その他決定の運びになつて居るが、何といつても一番大事なことは真に我々の代表者たり得る人、地方政治の民主化に誠実且つ強力な役割りを果し得る人を選び出す事で、その点組合員各位の選挙に対する透徹した認識と、全幅的な御協力を切に希うものである。

解説

ストライキの戰術は21日決定
山下中斗委帰山報告

佐賀地方をオルグ活動中だつた九州炭労選出中闘山下次長が二十日帰山し、中央経過について本部役員会に報告した　なお二十三日開催される第四回中闘委員会出席の為、二十一日上京する。以下は山下中闘の中央経過報告である。

× × ×

佐賀地区のオルグ活動を終つて本日帰つて参りました。他の中闘は本日東京へ出発致しましたが明日三池の戦術委員会を開催して頂き、三池の意見を聞いて行きたいと思つております。現在までの経過について報告したいと思いますが、その前に突然第五回九州炭労の決定に基きまして九州地方選出中闘四名の中の一人として選出され、十月一日の第一回闘争委員会に間に合う為、二十九日上京したので組合員の皆様や決議機関や執行機関に挨拶する機会を得なかつた事に対し申訳なく思つております。札幌大会で地方中闘を出す事を決定されたことは資本別のエゴをなくするためでありますのでこの大会決定の精神に従つて行動したいと思います。そうする事が統一闘争を守る事であり、更に三池の組合の要望に応える事であると考えております。兎も角私が持つている全力をつくして頑張ります。では現在までの闘争経過について報告しますが、

賃金については　九月二十二日経過措置に対する申入れを行つた。

二十四日集団交渉に応じよという申入れをやつた。これに対する各社の回答は、経過措置については三井と明治が新賃金が決定するまで現行賃金を本格賃金として横すべりさせる。三菱は十一月まで現行賃金を本格賃金として横すべりさせる。その他の資本は十二月までに本格賃金として横すべりさせる。大正は何の回答もやつていない。集団交渉方式については各社とも資本別交渉をやるとの回答をした。

第三回の中闘委員会では、この会社の回答に対して十二日から交渉団を編成して一齊に交渉を開始するとゝもに地方中闘を中心として下部態勢を盛り上げるために、一齊にオルグ活動を開始した。十二日からの交渉による現在までの会社の態度は三井だけが対角線交渉なら応じましようといつている。その他の資本は依然として資本別交渉を主張している。オルグ活動を行つた各地方選出中闘は下部態勢が盛り上つていない支部に対しては指導を終つて十九日上京する。十二日から交渉を開始した。交渉の推移と地方選出中闘が下部態勢を点検した状態とを合せて判断し、ストライキの戦術を二十三日の一時から開催される中闘委員会で決定する。更に期末手当については世論調査を二十日まで集約する。二十五日頃までに要求書を作製し、更にそれを下部大衆討議にかけ十一月の五日までには最終的に要求書を決定したいと考えている。大会決定では期末手当は賃金闘争の前段闘争として闘う事に決定されているので当然十二月初旬に九州で開催を予定している前段闘争の総点検の第二次大会までには闘いを開始し解決を見なければならないと判断しているが総評の年末闘争の推移を眺めて見ると十一月の下旬に開催されるであろう臨時国会を山として闘いを開催される様に当初は考えていたが、実質上十二月の初旬に予定される通常国会を中心として闘争の山は盛上げざるを得ない情勢に到達している状態である。そこでこの総評の闘いの推移と賃金の前段闘争として闘わねばならぬという関係については十分二十三日以后開催される中闘委員会において検討し最も効果的なる時期を選んで決定をしたいと考えている。私は九州地方本部選出中闘として佐賀地区を中心としてオルグ活動を十二日から十九日まで行つたが各支部の組合員の生活状態は窮困を極めている状態であつた

しかしながら必ずしも闘争の態勢は万全でなかつた。そこでこの万全を期すためには、更に具体的な指示や対策が必要であると判断しているので二十三日からの中闘委員会に提案したいと考えている。いつも感じる事であるが特に今回の様な困難な賃金闘争になると中闘として自分の出身支部の心配もなく思う存分闘う事だけ考えればよい、その点三池の組合に対し、心からの感謝をさゝげたい気持になる。中闘として出身支部の心配をしなければならない程みじめなものはないのです。（以上は報告を集約したものである）

【写真は山下中闘委】

珪肺要求闘争は
炭労で統一してやる

珪肺要求闘争について執行部としての考え方は、現在国会で継続審議中であるからこれに対する働きが先ず第一であつて、この闘いは全国的に行われるべきであるから炭労として取上げる様努力している。若しこの法案が廃案になつた場合は三鉱運として会社に要求すると説明した。これに対して三池では二十八年協定が本年四月末で切れているので現在無協約状態であるから、立法化されるまで三鉱運対会社で交渉することを組合員に徹底していると主張し、「法案成立まで三鉱運として会社と交渉して有利に闘いとるべきである」という意見と、「今三鉱運としてやると法案が通過しなかつた場合再び三鉱運が新しい要求をするときに問題が起きる、従つて執行部提案通り炭労大会で提案し全国的な闘いにもつていくべきである、法案が通過しなかつた場合には三鉱運として独自に要求する」という両者の意見に別れて論議されたが、執行部としては意見をまとめるため別室協議をもち、意見調整の小委員会をもつことを提案し小委員会の結論としては

三鉱運としては炭労の組織下にあることを勘案し、炭労大会でできるだけ統一闘争のできる様に努力する、若し炭労大会で提案されなかつたり或は次期に延期されたときは、三鉱運として直ちに中央委員会を開き具体的に案をねり独自に交渉する。

以上の結論を確認した。

外炭輸入は反對
＝その他＝

特休は健保等級日額

前大会で次期機関決定になつていた、労協の特休買上げに関する件は、健保等級か平均賃金かについて各山よりそれぞれ考え方が出され　どちらが有利か個々の事例をめぐつて種々論議されたが、健保等級日額に決定をみた。同十一月一日から実施することを確認した

カンパ配分決る

企業整備闘争中に三鉱運に対して総評傘下組合員一人当一〇円、炭労組合員一人当一〇〇円のカンパを決定し、総額一二、二三三、一一三円十銭（配分総額）のカンパをうけた。この金を六山で最終的に配分することを大会で決定した結果　三池は五、三七三、七七一円十銭の配分を受けた。（既に企闘中配分を受けている）

結核患者の
補償を一年延せ

西鉱運より提案の結核患者の療養期間が三年になつたが保険給付は二年であるので、会社補償の一年間延長について現在患者は非常にみじめな状態であるので早急にやるよう要請、執行部としては事情はよくわかるので十分努力はするが、困難な問題であるから、今すぐというわけにはいかぬので具体的な調査研究をして展開するので執行部に一任して頂きたい（諒解）

新聞代値上反對決定

新聞代値上反対闘争は広汎な闘いでなければならないので本大会で決定し炭労へもちこみ、更に総評へと発展させて闘いたいという、西鉱運提案を諒解。

重役移動で闘う

今秋重役の移動があるが、これは経営方針変革闘争の重要な一環として強力に六山の意見を集約して徹底的に闘いたいと考えている。という執行部の考え方について了解された。

外炭輸入反對で闘う

新聞報道によるとアメリカ炭一千万トンが輸入されるということに対して反対決議をし炭労、総評に働きかけて大きく闘いたいという美唄の提案に、執行部としても外炭輸入により圧迫されることは必然であつて政府には炭労を通じ、又会社に対しても働きかけて闘いたいので具体的な行動は執行部に一任されたし（諒解）

特別会費徴収の件

三池の中央委員会に於てこの会費徴収については一応了解を得ていたが、中央執行部より予算面に於て闘争オルグ費等の増大その他今時の闘争に備え、二十五円の特別会費徴収の件で説明があつたが、小委員会を開き検討の結果一応二十円を融資することが決定され大会もこれを確認した。

炭鑛の加配米 既得權を守れ
政府はきりすてる肚だ

米穀年度末が迫ると共に（十月末日）供出割当会議が連日、農林省で行われているが、炭鉱向けの加配米はこの際バッサリ切り捨てようという政府のハラは変つていない。各地方本部では、陳情団をくり出して前例のない強力な圧力をかける予定で、手ぐすねを引いているが、政府、農林省、食糧庁にかける炭労の鋭い追及をハグラカスのに関係当局はいろ／＼な手を考えているようである。即ち「家族加配米、非加配対象者用米は一律に切り捨てるが、その替り、労務者にその分を加える」というようなもので、言葉だけで巧みにゴマかそうとかゝつている可能性が強い。各地方本部でも陳情団を編成して知事にものすごい圧力をかけているが、言質をとるのに成功しているようである。中央の大挙陳情も近いうちに行われる。

骨抜き労金ねらう

既に機関紙「炭労新聞」三二一号でも解説されたが、ホンの少しの政府出資で、労働者住宅の建設、福利厚生事業の助長、賃金遅欠配の融資措置というエサで、実は、労働金庫の発展を食いとめようとするのがねらいである。地方労金ののび方がすばらしい勢いにあり資本家は労金からスト資金を借出されると、おち／＼していられないので政府に立法化を促している。これによると「業務の監督は労働大臣と大蔵大臣が行い、内閣の承認を得て任免される評議員が役員になる」とある。これは法律で「労働金庫はストライキのために融資してはならない」と決めて、労働金庫をジリ／＼締めつけてゆこうというのである。

珪肺法を政府出す

世論に圧倒された自由党政府は、珪肺法の制定促進をじやまするこ とが出来なくなつたので、今度は少しでも安くあがる珪肺法をきめるように動き始めた。珪肺審議会に提出された、ごく内輪な見積りに対しても経営者は実質的に総退場している。更に政府と経営者はどんな手で出てくるか、よく見ていなければならない。

昇給に關する覺書

覺

三井鉱山株式会社と全国三井炭鉱労働組合連合会とは昭和二十九年十月一日以降の昇給に関し、左記の通り覚書を交換する。

記

一、昇給財源

昭和二十九年九月末日在籍直轄鉱員「除く組合専従者及び未復員者」にして且つ査定当日在籍するもの一人当平均日額六円二十銭を以て精算した額とする。

二、昇給資格者

昭和二十九年九月末日在籍直轄鉱員「除く組合専従者及び未復員者」にして且つ九月末日現在に於いて実勤続満六ケ月以上の者とする。

但し、査定当日在籍しない者は資格者としない。

三、昇給基準

昭和二十九年九月末日現在実勤続満六ケ月以上一年未満の者は一般昇給者の半額とする。

四、昇給方法

昇給の具体的方法については会社は組合と協議の上実施する

決定された昇給額は各人持前の固定給とし、能率に対応して支払う賃金の基礎には繰入れない。

五、昇給実施の期日

昭和二十九年十月一日付を以て実施する。

六、精算

昭和二十九年十月一日以降実際に個人別昇給額が決定実施されるまでの間の昇給額の精算方法については各事業所毎に会社、組合間で協議決定する。尚、精算額の賃金差金については別途協議する。

七、一時金

1、昭和二十九年九月までの経過に対する一時金として昭和二十九年九月末日在籍直轄鉱員「除く組合専従者及び未復員者」にして且つ支給当日在籍する者に対し一人当り五〇〇円を支給する。但し、上記金額は勤労報奨保険金による給付金を以て充当し無税とする。

2、支給方法に関しては各事業所毎に会社は組合と協議決定する。

昭和二十九年十月十三日
三井鉱山株式会社代表取締役
全国三井炭鉱労働組合連合会

附属了解事項

覚記四の昇給額は三池における能率給率（職種給率を含む）田川における流動式職務給（歩増）を乗じる対象にはしない。

昭和二十九年十月十三日
三井鉱山株式会社　労務部賃金課長
全国三井炭鉱労働組合連合会　労働部長

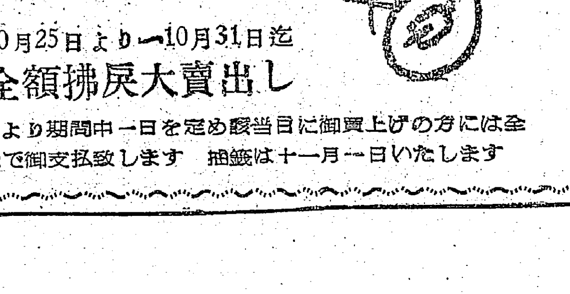
炭都随一を誇る紳士服専門の店
冬物優秀特選品　背広 オーバー 替ズボン　展示中
有限会社　遠藤洋服店
旭町商店街　電4549

三鉱労組四山支部港務支部指定店
時計 眼鏡　平賀時計店
大牟田市三川町四丁目

高級家具漆器
秋の嫁入道具
高千穂家具店
三川町一丁目　電六一〇五

自轉車のデパート
大牟田専門店会
宮浦鉱（大浦）本所人事 三池製作所　指定店
本田自轉車商会
三作前　電三九二五番

お買物は永年の信用と伝統を誇る
服地 反物 洋品雑貨 毛糸
永田雑貨店
三川町一丁目　電六二八九



築町バス停前
10月25日より10月31日迄
全額拂戻大賣出し
抽籤により期間中一日を定め該当日に御買上げの方には全額現金で御支拂致します　抽籤は十一月一日いたします